

科目名称：	ファッション・スタイリスト演習Ⅲ		
担当者名：	荒川 美恵子、成瀬美子、堀 一浩		
区分	授業形態	単位数	
専門教育科目	演習	5	
授業の目的・テーマ			
生活に根ざした美術である衣服の製作を基本として、ファッションを中心とした幅広いライフスタイルの提案を行い、独自のデザインによる衣服の制作を目指す。 ※地産業界や地域から依頼された課題を適宜取り入れていく。			
授業の達成目標・到達目標			
1年後期・2年前期に習得した衣服制作の技術をもとに、自らがデザインした衣服の制作を目的とする。衣服の製作だけではなく、アクセサリーの製作やブランド展開、ショップの提案なども行う。			

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	積極性・関心度	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			60	40	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 荒川 美恵子/パターンナー、アパレルグ レーダー、衣装制作、オーダーメイド制作	《経験年数1》28年
	《内容2》 成瀬美子/デザイナー、パターンナー、衣 装制作、オーダーメイド服仕立て	《経験年数2》23年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
作品の完成度・技術	素材の特性を理解し、コンセプトに適った選択をしており、非常に丁寧に作業がされている。	コンセプトに合わせた素材・方法を試み、丁寧に作業がされている。	コンセプトを考えながら表現方法を模索している。	コンセプトがまとまらず、作業も丁寧さを欠く。
研究する姿勢	自己の方向性を理解し、スケジュールを管理しながら新しい表現の研究にも積極的に取り組む	スケジュールに従い作業を計画し、努力して製作している。	作業内容の理解に努め、遅れずに制作に付いて行っている。	作業内容が把握できておらず、制作も遅れる。
独自性	新しい提案があり、他にない個性が表現されている。	個性を認識し、表現できるように工夫されている。	個性を模索し、ある程度表現できている。	個性が十分に表現できていない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1週 自由制作／地域に関わる課題を見つけて制作する(1週)	「千代女」の人物像や俳句が作られた時代背景、俳句についても調べておく	40分
第2週 第2回オーディション／制作をふりかえり、ディスカッションを行う。	制作の工程に関する事をテキストで調べておく。	300分
第3週 卒業制作	オーディションのプレゼンをまとめておく	300分
第4週 卒業制作	デザイン画を考えておく。	300分
第5週 卒業制作	パターン製作に関する事をテキストで調べておく。	300分
第6週 卒業制作	パターン製作に関する事をテキストで調べておく。	300分
第7週 中間審査 途中経過をディスカッションする。	仮縫いの工程に関する事を調べておく。	300分
第8週 卒業制作	仮縫いの工程に関する事を調べておく。	300分
第9週 卒業制作	生地について調べておく	300分
第10週 卒業制作	実作の必要な工程に関する事をテキストで調べておく。	300分
第11週 卒業制作	実作の必要な工程に関する事をテキストで調べておく。	300分
第12週 卒業制作	作品の完成に向けて必要な工程をしらべておく。	300分
第13週 最終審査 展示に向け、ディスカッションを行う。	作品の完成に向けて必要な工程をしらべておく。	300分
第14週 卒業制作	展示の計画をしておく。	300分
第15週 卒業制作	展示の計画をしておく。	300分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては調べた内容を小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
課題作品の提出を原則とし、作品の評価（60%）、制作への積極性・関心度（40%）の総合評価

課題に対してのフィードバック

オーディションの結果をコメントシートでフィードバックする

教科書・参考書

文化ファッション大系 服飾造形講座（4）スーツ・ベスト
改訂版・文化ファッション大系服飾造形講座（3）ブラウス・ワンピース